

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室

実施報告書

東京都 板橋区立志村第五中学校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実 施 内 容

■期 日 : 2019年10月3日 (木)

■ク ラ ス : 2年1組 (34名)

■オリンピアン : 中山 英子 先生 (スケルトン) 【出場オリンピック/ソルトレークシティー大会、トリノ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・自己紹介の後、2時間を通してオリンピックとはどんなものか学んで身近に感じてほしいと伝え、準備体操(ストレッチ、じゃんけん勝ち抜け)を実施。

2. 準備体操



3. 主運動



・8の字跳びを実施。引っかけなくても続きから数えることとして、回数を競う。



4. まとめ



・最初に伝えた3つの約束を皆が守って進歩していったことが見受けられた、それがオリンピックバリューにつながってくると話し、座学の時間でも皆で話し合いながら深めていきたいと伝え、運動の授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・映像を見せながら競技について、近代オリンピックの起源やクーベルタン、オリンピックシンボルについて、自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて、説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



発問：合唱コンクールに向けてどのようなことを意識して取り組んでいか、オリンピックバリューに当てはめて書き出してみよう。

発表：各班の代表者1名が前に出て発表。（抜粋、順不同）

「普段から全力で声を出す」「少ない時間で効率良く練習するために全員が全力で真剣に取り組む」(エクセレンス)

「協力して意見を出し合う」「皆で励まし合う」「声を掛け合う」「お互いを高め合う」(フレンドシップ)

「思いやりを持つ」「仲間の良いところを尊敬する」「皆で決めたことは守る」「自分たちの番が終わっても他のクラスの歌をしっかりと聴く」(リスペクト)

4. まとめ



・グループワークで話し合ったことを意識して練習に取り組めば、合唱コンクールで得られるものが変わってくる。本番では緊張しすぎずに、練習の成果を出し切ってクラス皆で充実感を味わってほしい。

・東京2020大会ではオリンピックだけでなくパラリンピックも開催される。文化の違いや障害の有無を越え、さまざまな価値観を尊重しながら生きていくことの大切さを東京2020大会を通じて学んでほしいと伝え、授業終了。

実施内容

■期 日：2019年10月3日（木）

■ク ラ ス：2年2組（34名）、2年3組（35名）

■オリンピアン：荻原 次晴 先生（スキー／ノルディック複合）【出場オリンピック／長野大会】

■授業のながれ：運動の時間（3時限、5時限）

1. 自己紹介～授業の目的確認



・東京2020大会に向けて、オリンピックをより身近に感じてほしいと話し、スキージャンプとクロスカンリースキーの2つの競技を1人の選手が行うノルディック複合競技でオリンピックに出場したと自己紹介。

2. 準備体操



3. 主運動



・8の字跳びを実施。引っかけなくても続きから数えるとして、1チーム毎に実施し、他チームは応援しながら回数を数える。



4. まとめ



・オリンピックシンボルを指しながら、座学ではオリンピックについて頭を使って考えていきたいと話し授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリュー(エクセレンス、フレンドシップ、リスペクト)について説明。

3. グループワーク



発問：日頃の生活の中で、3つのオリンピックバリューを感じる瞬間を書き出してみよう。

発表：各班の代表者1名が前に出て発表。（抜粋、順不同）

「運動会の大縄で記録を更新できたこと」「大会でベストを尽くせるように日頃から練習を頑張る」(エクセレンス)

「チーム皆でお互いに高め合えた時」「運動会や合唱コンクールの行事」「そうじ」「班活動」(フレンドシップ)

「試合で負けた時にぐさめてくれる」「部活で先生や先輩から教わったことが活かして上手くなった時」「試合後の握手」(リスペクト)

4. まとめ



・オリンピックの1番の目的はスポーツを通じて皆が1つになり世界の平和を築くことである。オリンピックシンボルに込められた意味を自分で調べてほしい。
 ・今回のオリンピック教室をきっかけに、オリンピックに少しでも興味・関心を持ってもらえたら嬉しい。東京2020大会を思い切り楽しんでほしいと伝え、授業終了。

■ 集合写真
2年1組



2年2組



■ 集合写真
2年3組



■ 記念品贈呈
2年1組



2年3組



2年2組



■ 修了証贈呈

